

わいふ一番館だより

問い合わせ先 わいふ一番館 ☎ 0968 (24) 6630

【ギャラリー】

「吊るしびな展示会」吊るしびな愛好会

期 間：～3月12日(日)

楽しいひなまつりの行事に、吊るしびなを添えました。女の子の健やかな成長と幸せの願いを込めた作品展です。

「絵手紙展 (私たちの1年間の取り組み)」夢美会

期 間：3月14日(火)～4月2日(日)

うまく描くより、心を届けることに重きを置き交流してきました。そんな1年間の集大成です。ぜひご来館ください。

【まちかど資料館企画展】

「菊池一族歴代の墓碑展」

期 間：3月2日(木)～7月30日(日)

450年間にわたって菊池地方を中心に繁栄した菊池一族。その功績は彼らの墓碑という形で、現在も市内外に残されています。展示会では、各時代の当主や大きく活躍した人物の足跡を墓碑とともに紹介します。

開館時間 午前9時～午後5時

※休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）

菊池夢美術館情報

問い合わせ先 菊池夢美術館 ☎ 0968 (23) 1155

「第14回菊池わいふのひなまつり」

期 間 ～3月12日(日)

菊池夢美術館をメイン会場にさまざまなひな人形を市内5カ所に展示します。期間中はいろんなイベントを開催。3日(金)はミニコンサート、4日(土)は箏コンサートを行います。

期間中のイベント

(木)…つまみ細工のお雛様（体験）

(木)…紙芝居

(金)…おもを作ろう（体験）

(土)(日)…クラフトパンチアート、ストーンペイント



展示中のひな人形

「女性工芸作家 五人展」

期 間 3月15日(水)～20日(月)祝

編物・陶芸・和布ネクタイ・フラワーアレンジメント・ハーブ染などの作品を展示します。

開館時間 午前9時～午後6時

※期間中の閉館日はありません。



タケノコ掘り体験

菊池おいしい村づくり
木造校舎を活用した「きくちふるさと水源交流館」では、親子で参加できる農業体験&食育プログラム「おいしい村づくり」を行っています。
里山でお米や野菜を育て、収穫し、料理を作って食べる四季折々の食や農村の生活を体験するプログラムです。地元のおじいちゃん、おばあちゃんに見守られながら、里山の豊かな食や自然に関わりそこに暮らす人々の知恵を発見していきます。
菊池の自然や営みを再確認する「おいしい村づくり」に親子で参加しませんか。
期 間 4～12月 毎月1回開催
対 象 小学生以上の子どもと保護者
費用(宿泊・食費・保険料込み)
▼宿泊 2500円
▼日帰り 1500円

三年峠
大部分の韓国人がよく知る「三年峠」という童話がある。内容は次のようだ。
昔ある村に、この峠で転んだ人は3年しか生きられないという言い伝えの三年峠があった。ある日おじいさんが三年峠を越えていた。おじいさんは、転ばないように用心して歩いていたが一匹のウサギがぴよんと走り出てきた。びっくりしたおじいさんはころんと転んでしまった。
「ああ私はもう死ぬー」おじいさんは地面を叩いて泣いた。家に帰って「ばあさん、わしはもう3年しか生きられない。三年峠で転んでしまったよ」おじいさんは心配のあまりたちまち病気になる。
このうわさを聞いた隣家の少年がおじいさんを訪ねて来た。「おじいさん、そんなに心配しないで早く起きて三年峠に行きましょう」。「あそこに行ったらなげじゃ」「あそこに行ったらまた転んでください」。「また転べだど？わしに死ぬと言ったのか」。おじいさんは怒りだした。「おじいさん、一度転んだら3年は生きら

れるなら二度転ぶと6年、三度転ぶと9年は生きられるのではないですか？」。おじいさんは少年の言葉に納得した。「そうじゃのう！今すぐ行って転ばにゃならん」おじいさんは峠のてっぺんからごろごろと転んだ。
時が流れ3年が過ぎたある日、おじいさんが三年峠を越える途中で石につまずいてまた転んだ。「ほほ、もう50回転んだから、これから150年は生きられるわい！」おじいさんは明るく笑った。
この童話の主旨は、死の恐怖を逆発想で乗り越えるというものである。これは現代の私たちにも教訓になる。人間は往々にして習慣や情性に落ち着き、変化が必要なきでもそれを積極的に受け入れるのではなく習慣や既存の方法という楽な方を選ぶ傾向がある。
三年峠は変化や危機をむしろ逆発想で受け入れる積極的な考えを持たせる。4月になると学校は新学期を、世の中は新年度を迎える。そんな変化のとき、私たちはこれまでの方法に縛られるのではなく新しい発想で前を向いて歩いて行きたいと思う。

ふるさと緑の便り
菊池グリーンツーリズム
問い合わせ先
きくちふるさと水源交流館
☎ 0968 (27) 0102

韓国発見シリーズ 54
こんにちば金です



「金比羅さん」は、龍門ダム湖周辺にある大きな岩のことです。昔、伊勢参りで周防灘を航海する際に、金比羅さんを祈って命拾いしたと言い伝えられており、班蛇口の山の頂に祭られています。参道には記念碑や手洗石などがあり、近くには「役の行者」と呼ばれる尊像が祭られています。
役の行者は7世紀頃の修行者で、吉野山や大峰山などさまざまな山で修行したといわれています。「役」が「縁」と結びついて、いつしか「縁結びの神様」として広まっていきました。毎年3月10日には、地元住民による「金比羅さん祭り」が行われるなど、地域で保存・活用されています。



役の行者の尊像



認定番号第ふるさと H27-17 号
推薦者 遊蛇口区



認定番号第ふるさと H27-16 号
推薦者 中原区

【詩の部】
「りおなちゃん」
戸崎小3年 倉原怜衣
りおなちゃんはお友何でも言える友だちりおなちゃんはやさしいりおなちゃんが一りん車を教えてくれた「こまで、こまで。」と、手をつないでくれた「がんばれ。」とおうえんしてくれたこけたときは、おこしてくれたおかげで一りん車にのれるようになったりおなちゃんとけんかしたわたしはおこって家に帰ったしばらくしたら「れいちゃん」とりおなちゃんの声げんかんのよこのすに「ごめんね。」とかいた手紙わたしの方がわるかったのにわたしはすぐにりおなちゃんにいった「ごめんね。」っていったらりおなちゃんがにこっとわらった



【ポスターの部】 菊池南中3年 戸袋結珠音

りおなちゃん
これからも
なんでも話せる友だちでいてね
【詩の部】
「スマイル100」
菊之池6年 富岡志帆
この気持ちはなんだろう
いじめられている人の苦しみがかさ
げびとなって聞こえてくる

この気持ちはなんだろう
「止める心」「なくす心」泣いている人の力になりたい
「強い心でたちむかうんだ」
この気持ちはなんだろう
みな平等な青い空、力強く上を向く手をさしのべる私
人として、だれもが大切なからこそ
自分の力で心の輪と輪をつなげたい
スマイル100をめざす私

シリーズ菊池遺産 ⑦6

問い合わせ先 企画振興課
☎ 0968 (25) 7250

人権・同和教育シリーズ ⑬38

問い合わせ先 人権啓発課
☎ 0968 (25) 7209